

「どんぐりs」、異例づくめの高森台夏祭りに出店 「光るおもちゃ」に輝く子供らの瞳

「どんぐりs」が、今年も高森台夏祭りに出店しました。異例のコースをたどった台風12号。そのおかげで、2日間の予定だった同夏祭りが7月29日の一日だけの開催になりました。また盆踊りのやぐら設営ができず、高森台小学校の体育館およびその周辺を会場として開催されました。少し寂しい夏祭りになりましたが、毎年この時を楽しみにしていた子ども達をはじめ、老若男女が多数集まり、大いに賑わいました。

「どんぐりs」の売り場は、空調設備の無い蒸し暑い体育館内でしたが、恒例となった「光



るおもちゃ」を販売＝写真。浴衣姿の子ども達が、暗闇に光るおもちゃを手にししゃぐ姿は、一服の清涼剤でした。自分たちも幼い頃、親に手を引かれ参加した夏祭りを懐かしく思い出しました。夏祭りは世代や地域を超えて交流する場でもあり、ニュータウンの活性化に大いに貢献しているとの思いを強くしました。なお、「どんぐりs」は、8月4日(土)の押沢台夏祭りにも参加する予定です。(藤城 栄一)

役員会から (7月21日)

●「この暑さはひどすぎるね」。席に着くなり、あいさつ代わりに猛暑へのボヤキが口について出る。「互いに歳だから、こまめに水を補給し熱中症に気を付けないと」とうなずき合う。この流れで、8月4日の押沢台夏祭りでのタマセンの販売中止が、異論もなく決まった。●初めてタマセン販売に挑戦した昨年は、行列ができるほど好評で、タマゴも3回ほど買い足しに走った。しかし、鉄板の前で目玉焼き作りを担当していた役員がふらついて、慌てて交代する場面もあった。今年の暑さでは、倒れる人が出かねない、と中止の提案があった。活動資金も欲しいけど、何より健康が大切。今年は、光るオモチャで一本勝負をすることになった。●「どんぐりsカフェ」が、月ごとにテーマを設定する方式に改められたのに伴い、テーマごとの担当を各役員に割り振った。「どんぐりs」の活動の柱であり、どう魅力ある集まりにするか、どうしたら会員の方の力をお借りできるか、しっかり知恵を絞りたい。(明賀 雄二)

8月の「どんぐりsカフェ」

“うたごえサロン” (歌声喫茶風)

日 時；8月19日(日) 13:30~16:00

会 場；東部ほっとステーション

(サンマルシェ南館1階)

参加費；200円

8月の高齢者・すまい無料相談

●お電話か又は直接会場にお越しください。

☎080-4540-3553 (どんぐりs事務局)

面接相談日時；8月5日(日)、26日(日)

(ともに13:30~16:00)

会 場；東部ほっとステーション

考える会、公園アダプト(里親制度)加入 高森山の整備、市と協働

「どんぐりs」が支援する「魅力ある高森山を考える会」は、高森山公園の美化・環境保全のため、春日井市公園緑地課と協働によるまちづくりを目指し、5月に市公園施設アダプト(里親制度)に加入する合意書を締結しました。その結果、市から使用備品として、滑り止め軍手、刈込みはさみ、木鎌、伐採用のこぎり、防護用ヘルメット等が数多く支給されました。早速その用具を使い、7月14日午後3時から鬱蒼とした高森台小学校西コースの登山道で3回目の下草刈り、常緑樹等の伐採を行ないました。猛暑の中、10名もの参加があり、歩きやすい登山道にするため、ヒサカキ等の小木・雑木を切ったり、シダやサルトリイバラ等の下草を刈り込

みました。支給品の切れ味は鋭く、使用者は満足げでした。公園緑地課も大いに期待しているようなので、これからも協力していきたいと思えます。今後の実施予定日は、8月11日、9月8日、10月13日のいずれも土曜日午後3時。参加希望者は、是非、連絡願います。

連絡先・090-1287-1258 (堀内 泰)



熱戦 (大相撲名古屋場所) 森 健

私の朝・昼・晩

酷暑に立ち向かう

猛暑を通り越して酷暑だとか。とにかく今年の暑さ異常である。テレビでは「就寝中もクーラーを」と呼びかけている。つい数年前までは、「温暖化対策のために、クーラーの使用を控え、クルールビズを」と言っていたのに、背に腹は代えられぬということか。徒然草に曰く「住まいは夏を旨とすべし」。

日本の蒸し暑さを凌ぐために、先人はさまざま工夫をしてきた。日差しが室内に侵入しないように、軒の出を深くとり、縁側を向け、簾や葦簀を設けた。また、風通しを良くするために、窓や戸を大きくとり、間仕切りを取り外しがきく襖や障子にした。さらには道路や庭に打ち水をして外気を冷やすことや、金魚、朝顔、風鈴などで涼感を得るといった智慧や工夫。こうした日本の伝統的なすまい文化はどこへやら。

夏に強いと自負してきた私も、歳のせいか今年の暑さには閉口している。それでも扇風機と早朝のラジオ体操とウォーキングで何とか乗り切りたいと踏ん張っている。いつまで持つかな。
(藤城 榮一)

「大人のたまり場」、開設から2年

高齢者の「憩いの場」としての「居場所」づくりを念頭に、東高森台地区の東の外れの一軒家に、くらし相談員4人で「大人のたまり場」を開設して早や2年が経ちました。この間、市の補助金にも支えられて、ゲームやおしゃべり、そしてお茶とお菓子のおもてなしと、スタッフの協力の下、第2・第4水曜の午後12時~16時月2回開催して参りました。特に麻雀は人気があり、毎回メンバーが揃って麻雀卓を囲める状況になっています。これから「大人のたまり場」が「また行ってみよう」という魅力ある「居場所」にしたいという想いから、女性向けの「折り紙」や「小物作り」、また誰でも遊べるオセロゲームや人生ゲームなどをそろえています。皆様のご来場をお待ちしております。(浪川 昇三)

8月の「大人のたまり場」

日 時；8月8日(水)、22日(水)
(ともに13:00~16:00)

会場；「大人のたまり場」
(高森台6丁目、東高森台集会所そば)

参加費；200円

連絡先；☎080-4540-3553